

# オリーブによる健康・長寿の島づくり

## 自治体情報 香川県小豆島町

人口 / 16,221人 標準財政規模 / 5,523百万円

**担当課** オリーブ課  
**電話番号** 直通 0879-82-7018  
**実施主体** 小豆島町健康長寿の島づくり推進会議  
**関連ホームページ** <http://www.town.shodoshima.lg.jp/>

**事業期間** 平成24年度から平成25年度まで

**関係施策分類**

## 予算関連データ

総事業費：9,000千円

名称	所管	金額(千円)
過疎対策事業債	総務省	7,000
一般財源	-	2,000

## 施策のポイント

小豆島は、日本の「オリーブ栽培発祥」の地である。他地域との産地間競争に勝ち抜くため平成22年9月にオリーブトップワンプロジェクトを立ち上げ、①研究開発、②人材育成、③品質の差別化、④広報・宣伝の4本柱に沿った取り組みを行っており、平成24年度からは、新たに地域の資源であるオリーブを用いた食の普及や、オリーブが健康に効果的であることを医学的なエビデンスに基づき実践して、その成果を科学的・医学的な立場から全国に発信し、小豆島が名実ともに「オリーブと健康の島」になることを目指す。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

国内最大のオリーブの産地である小豆島にあって、地域の資源である「オリーブ」を食生活に活用し、オリーブがもつ健康効果を科学的なエビデンスに基づき立証することで、医療費と介護費の抑制を図り、健康長寿の島づくりの実現をめざす。

### 2. 取組の具体的内容 ※別紙資料①・②参照

「小豆島町健康長寿の島づくり推進会議」の設置。

平成24年度では以下の取り組みを実施する。

- ①オリーブを用いた料理の家庭・学校給食での普及
- ②オリーブを用い、小豆島の食材を活かした新しい料理の開発
- ③オリーブで生活習慣病を予防し、健康・長寿を実現
- ④オリーブを用いた料理によるオリーブ観光の推進

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ①島民への健康・長寿、医療・介護の負担軽減
- ②子どもたちへの未来の健康と無限の可能性
- ③島外への観光客への小豆島の魅力度アップ
- ④栽培農家などへの小豆島のオリーブブランド力の向上

### 4. 現在までの実績・成果 ※別紙資料③参照

【学校・家庭・地域におけるオリーブ料理の普及】

- ①学校給食におけるオリーブの全面的な活用
- ②家庭でできるオリーブオイルを使った料理教室
- ③公民館を拠点に地域での普及を目的とした料理教室

【生活習慣病予防による健康・長寿の実現に向けた取り組み】

- ①事業の推進役となる保健師・栄養士等伝道師研修会の実施
- ②小・中学校における小児生活習慣病予防検診の実施
- ③公立の医療福祉施設における食育の推進

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

小豆島は、日本最大のオリーブ産地であるにもかかわらず、家庭や学校などでの普及はまだ不十分である。生産量ではスペイン、イタリアには及ばないものの、その質の高さや科学的な活用で、オリーブが健康に効果的であることを関係機関の協力を得て、立証する。

### 6. 今後の課題と展開

オリーブによる健康・長寿の島づくりは、地域・家庭・学校など、町ぐるみで誰もが楽しく参加できる地域おこしの1つとして、また公立病院の医師たちの全面的協力を得て、医学的なエビデンスを確認しながら、オリーブが健康に良いことを実践データに基づき、示していくことにより、名実ともにオリーブと健康の島を目指していく。